



Banco MUFG Brasil S.A.
Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

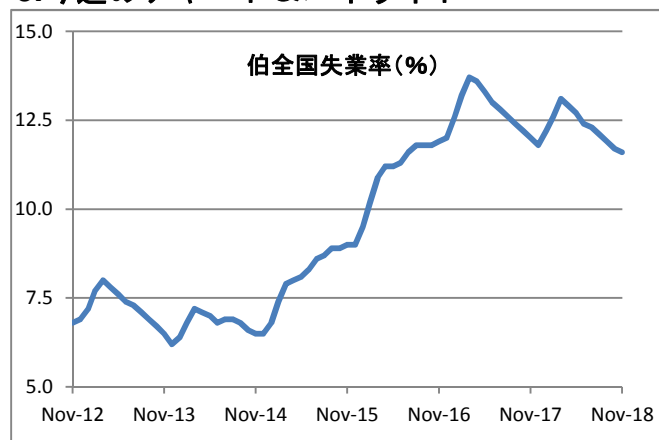
			12月21日	12月24日	12月26日	12月27日	12月28日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.8990	3.9040	3.9270	3.8750	3.8760	+0.0010
	BRL/JPY	Spot	28.55	28.33	28.37	28.58	28.48	-0.10
	EUR/USD	Spot	1.1365	1.1414	1.1350	1.1448	1.1446	-0.0002
	USD/JPY	Spot	111.34	110.65	111.37	110.75	110.36	-0.39
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.460	休場	6.465	6.463	6.456	-0.007
	Future	1Year(p.a.)	6.579	休場	6.594	6.566	6.553	-0.013
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.760	休場	3.858	3.517	3.284	-0.233
	USD	1Year(p.a.)	3.828	休場	3.894	3.678	3.520	-0.158
株式	Bovespa指数		85,697.13	休場	85,136.13	85,460.19	87,887.25	+2,427.06
CDS	CDS Brazil 5y		210.12	212.45	213.73	212.96	210.48	-2.49
商品	CRB指数		172.132	170.744	172.940	170.486	170.966	+0.480

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは、年末にかけて市場参加者が減少する中で年末固有の資金流出や米国発のリスクオフ相場を受け、一時3.94台まで下落。
- 週初24日(月)のレアルはクリスマスブで午前中のみ取引となる中3.9030で寄り付き、3.90台近辺を小動きに推移した。25日(火)は祝日により休場。祝日明けのレアルは米国の政治不安と世界経済を巡る不透明感を受けたリスクオフや、本国への資金送金等、年末要因と見られる資金流出のフローが重なり、週間安値3.9430を付けた。週末にかけては米株式市場の反発によるリスクオフムード緩和に伴って買戻しが見られ、週間高値3.8340まで上昇。結局3.8760で週越した。
- 24日(月)発表のブラジル中銀アナリストによる経済成長率予想は、2018年が1.30%で据え置かれ、2019年は2.55%から2.53%へ下方修正された。インフレ率予想は2018年は3.71%から3.69%、2019年は4.07%から4.03%へそれぞれ下方修正された。年末の為替レートは2018年は3.83から3.85にレアル安方向へ修正され、2019年は3.80で据え置かれた。
- 26日(水)、伯中銀は四半期末のドル買い需要に対して20億ドル相当のFXクレジットラインの入札を実施。翌日の27日(木)には追加で10億ドル相当の入札を実施した。但し、本件は同じレートで将来ドルを買い戻す条件が付いた取引であり、レアル相場への影響は限られた。
- 27日(木)発表された12月の米消費者信頼感指数は128.1と市場予想(133.5)を下回り、7月以来の低水準となった。5カ月ぶりに低下した前月に続く低下で、消費者の楽観が後退しつつあることが示唆された。特に、労働市場に関する見通しの悪化が顕著で、今後6カ月に雇用が増えると回答した比率は16.6%と、前月からの低下幅は1977年以来の水準となった。

3. 今週のチャート&ハイライト



11月伯全国失業率は緩やかな回復を示す

28日(金)、11月の伯全国失業率(9月-11月の平均値)が発表された。結果は市場予想(11.5%)を上回る11.6%となり、前回(11.7%)から小幅に改善した。非正規労働者の増加傾向は続いているもの、就業者数は前年同期比で124万人増加。失業者数は36.4万人減少し、緩やかなペースながら労働市場が改善傾向を維持していることが示された。但し、例年の傾向として年末はレイオフを回避するという季節要因による面も多く、また改善幅も小幅だったことから市場の反応は限定的だった。経済成長が緩やかなペースにとどまる中、労働市場の改善に引き続き注目が集まる。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.85－4.00

来週のレアルは軟調推移を予想。ボルソナロ次期総裁は1月1日より大統領に就任する。引き続き政治改革の行方に注目が強まるが、議会は来週も休会期間にある為、新たに議会在野が発足する2月4日以降まで、政治面における大きな動きは限られることが予想される。一方、国外市場では米政治・経済懸念等を背景とした先週の世界的な株安以降、恐怖指数として知られるVIX指数は今年2月以来の30近辺で推移している。リスクオフムードが拭えない中、レアルは上値の重い展開が予想される。尚、週末には12月の米雇用統計が発表される。同国経済の減速懸念が強まる中、直近の労働市場の動向に注目したい。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGVインフIGPM(前月比)	-1.10%	-1.08%	-0.49%
ブラジル	FGVインフIGPM(前年比)	7.52%	7.54%	9.68%
ブラジル	全国失業率	11.5%	11.6%	11.7%
ブラジル	基礎的財政収支	-15.5b	-15.6b	7.8b
ブラジル	純債務対GDP比	53.2%	53.3%	53.3%
米	シカゴ購買部協会景気指数	60.2	65.4	66.4
米	中古住宅販売仮契約(前月比)	1.0%	-0.7%	-2.6%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	1/2	貿易収支(月次)	Dec	\$4600m	\$4062m
ブラジル	1/2	CNI設備稼働率(季調済)	Nov	--	77.1%
米	1/2	卸売在庫(前月比)	Nov	0.5%	0.8%
米	1/2	新築住宅販売件数(前月比)	Nov	4.4%	-8.9%
米	1/3	ADP雇用統計	Dec	180k	179k
米	1/3	新規失業保険申請件数	Dec 29	220k	216k
米	1/3	ISM製造業景況指数	Dec	57.8	59.3
ブラジル	1/4	FIPE消費者物価指数(月次)	Dec	--	0.15%
ブラジル	1/4	FIPE CPI-週次	Dec 23	--	0.05%
ブラジル	1/4	マーケット・ブラジルPMIサービス業	Dec	--	51.3
ブラジル	1/4	マーケット・ブラジルPMIコホジック	Dec	--	51.6
米	1/4	非農業部門雇用者数変化	Dec	180k	155k
米	1/4	失業率	Dec	3.7%	3.7%
米	1/4	マーケット米国コホジックPMI	Dec	--	53.6
米	1/4	マーケット米国サービス業PMI	Dec	53.5	53.4

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。